

4月8日 令和4年度入学式 式辞

春のうららかな光の中で、校庭を囲む桜や花壇の花々も一斉に花を開いて  
新入生の皆さんが入学してくるの今か今かと、待っていました。

本日ここに、熊谷市立江南北小学校入学式が挙行できますことを  
心から感謝申し上げます。

さて、新入生のみなさん、入学おめでとうございます。  
今日からいよいよ、江南北小学校の一年生です。

江南北小学校のお兄さん、お姉さん、そして先生たちも皆さんが  
早く入学して来ないかな、と楽しみに待っていました。

江南北小学校では、ここにいるお友達や先生たちと、  
仲良く遊んだり、お勉強したりします。楽しみですね。

さてみなさん、「おおきなかぶ」という絵本は読んだことがありますか。  
その本の挿絵を描いた佐藤忠良さんという方が、かつて、図画工作の教科  
書に次のような言葉を寄せていました。

ずがこうさくの じかんは、  
じょうずに えをかいたり

じょうずに ものをつくったり することが、めあてでは ありません。

きみの めで みた ことや、

きみの あたまで かんがえた ことを、

きみの てでかいたり、つくったり しなさい。

こころを こめてつくって いく あいだに

しぜんが どんなに すばらしいか、

どんな ひとに なるのがたいせつか、

と いう ことがわかってくるでしょう。

これがめあてです。

皆さんはこれまで、

幼稚園や保育所、こども園でたくさんのかたを遊びの中で学んで、

知ってきましたね。

小学校では「お勉強」が始まりますが、

これまでの学びと股く違うわけではありません。

すべてのお勉強は、先ほど私がお話したように、

上手に 何かをすることが、めあてでは ありません。

皆さんの目を見たことや、皆さんの頭で考えたことを、

心をこめて表していくことが大事で、

それが皆さんがこれからもずっと幸せに生活するための力を

つけていくことになります。

小学校ではたくさん動いて、笑って、楽しんで、

時には泣いて、怒って、仲直りもして、  
心も体も大きくなってもらいたいと先生たちは思っています。

話は変わりますが、  
今日皆さんに教科書というお勉強の本をたくさんお渡しします。  
これは、皆さんがこれからもずっと幸せに生活していける力をつけてもらいた  
いと、

働く人たちが一生懸命働いて得たお金を国が集めて買って、  
「皆さん、どうかたくさん学んでくださいね。  
お金はいりませんよ。どうぞ使ってください」  
とくださったものです。

教科書にはそのような期待と温かな気持ちが  
詰まっています。  
ぜひ、大事に使ってください。

それでは、この後お家の方々に  
お話をしますので少し待っていてください。

保護者の皆様、お子様のご入学まことにおめでとうございます。  
お子様の晴れ姿に感慨もひとしおのことと存じます。  
心からお慶び申し上げます。  
私たちは本日より、

大切なお子様を6年間お預かりいたします。

お子様が心身ともにたく大きく成長するためには、  
熊谷で古くから大事にされてきた  
「家庭の教えて芽を出し」  
「学校の教えて花が咲き」  
「地域の教えて実を結ぶ」の  
言葉のとおり、  
ご家庭と学校、そして地域の方々が心をそろえて愛情をもって  
見守っていくことが大切です。

是非、本校の教育活動へのご理解と  
ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

結びに、御臨席の皆さまのご健勝と御発展を心より祈念申し上げ、  
式辞といたします。